注３ **大学番号：私051**

認可

［平成３０年度設置］

計画の区分： 学部の学科の設置

注１

和洋女子大学　看護学部　看護学科

注２

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人　和洋学園

令和元年５月１日現在

目次

看護学部

＜看護学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　和洋学園

（2）大　学　名

和洋女子大学

（3）調査対象大学等の位置

〒272－0827
千葉県市川市国府台2-1-18
（〒272-8533　千葉県市川市国府台2-3-1）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ナガサカ　ケンジロウ） 長坂　健二郎 （平成27年5月）		
学　　長	（キシダ　コウジ） 岸田　宏司 （平成24年4月）		
学 部 長	（トネ　ヨウコ） 刀根　洋子 （平成30年4月）		
学科長等	（ナカザワ　アケミ） 中澤　明美 （平成30年4月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成３０年度に報告済の内容　→（30）
令和元年度に報告する内容　→（元）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２７年度開設の４年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの５年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係（看護学関係）	年 4	人 100	年次 人 －	人 400	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	100人 100 (—) [—]	—人	100人 100 (—) [—]	—人	人 (　) [　]	人	人 (　) [　]	人	人 (　) [　]	人	1.17倍	—	
志願者数	335 (—) [—]	— (—) [—]	574 (—) [—]	— (—) [—]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]			
受験者数	314 (—) [—]	— (—) [—]	556 (—) [—]	— (—) [—]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]			
合格者数	251 (—) [—]	— (—) [—]	262 (—) [—]	— (—) [—]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]			
Ｂ　入学者数	114 (—) [—]	— (—) [—]	120 (—) [—]	— (—) [—]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	1.14		1.20										

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	114 [—] (—)	— [—] (—)	120 [—] (—)	— [—] (—)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
２年次			110 [—] (—)	— [—] (—)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
３年次					[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
４年次							[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
計	114 [—] (—)		230 [—] (—)		[　　] (　　)		[　　] (　　)		[　　] (　　)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成30年度	114 人	3 人	平成30年度	3 人	0 人	就学意欲低下(1人)、就職(1人)、その他(1人)
令和元年度	230 人	1 人	平成30年度	1 人	0 人	学内転籍(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合　計		4 人		4 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 3 / 114 = 2.63 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 1 / 230 = 0.43 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜看護学部　看護学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通総合科目	キャリアデザイン	1前・後		2							2
	基礎ゼミ	1前	2			12	10	7	6		
	パソコンの基礎と応用	1前・後		2							2
	哲学への誘い	1前・後		2							1
	日本の文学	1前・後		2							2
	外国の文学	1後		2							1
	ジェンダーと文学	1前		2							1
	表現と創作	1前・後		2							2
	こんにちの文化	1前		2							1
	歴史学	1前		2							1
	日本の美術	1前		2							1
	西洋の美術	1後		2							1
	音楽の歴史	1後		2							1
	音楽の楽しみ	1前		2							1
	手書き文字の世界	1前・後		2							2
	漢字・かな文字の変遷	1前・後		2							2
	日本国憲法	1前・後		2							1
	憲法と人権	1前・後		2							1
	国際関係入門	1前・後		2							1
	経済の仕組み	1前・後		2							2
	社会の仕組み	1前・後		2							2
	20世紀の日本	1前・後		2							1
	家族と社会	1前・後		2							1
	家族と福祉	1前・後		2							1
	服装の科学	1前・後		2							2
	ファッションの文化	1前・後		2							2
	色彩の科学	1前		2							1
	健康と食生活	1前・後		2							2
	住まいとデザイン	1前・後		2							1
	社会福祉の展望	1後		2							1
	加齢と高齢者の科学	1前		2							1
	こどもと育児	1前・後		2							1
	化学	1前・後		2							1
	数理と発想	1後		2							1
	看護の知識	1前・後		2		5					2
	社会貢献と実践	1前		2							2
	心理の科学	1前		2							2
	家族とジェンダー	1前・後		2							1
	人間の発達	1前・後		2							2
	生命の科学	1前・後		2							1
	現代の教育	1前・後		2							3
	遺跡に学ぶ	1後		2							1
	生命と医療の倫理	1後		2							1
	女性と美容	1後		2							1
	健康の科学	1前・後		2							3
	スポーツ実習	1前・後		1							2
	フィットネス実習	1後		1							1
	海外語学研修	1前・後		2							3
	海外文化研修	1前・後		2							1
	英語a-I	1前	1								3
	英語a-II	1後	1								3
	英語b-I	1前	1								3
	英語b-II	1後	1								3
	小計（53科目）	－									

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通総合科目	キャリアデザイン	1前・後		2							2
	基礎ゼミ	1前	2			12	9	6	6		
	パソコンの基礎と応用	1前・後		2				1			3
	ベーシックラーニング	1前・後		2							3
	哲学への誘い	1前・後		2							1
	日本の文学	1前・後		2							2
	外国の文学	1後		2							1
	ジェンダーと文学	1前		2							1
	表現と創作	1前・後		2							2
	こんにちの文化	1前		2							1
	歴史学	1前・後		2							1
	日本の美術	1前		2							1
	西洋の美術	1後		2							1
	音楽の歴史	1後		2							1
	音楽の楽しみ	1前		2							1
	手書き文字の世界	1前・後		2							1
	漢字・かな文字の変遷	1後		2							2
	日本国憲法	1前・後		2							1
	憲法と人権	1前・後		2							1
	国際関係入門	1前・後		2							1
	経済の仕組み	1前・後		2							2
	社会の仕組み	1前・後		2							1
	20世紀の日本	1後		2							1
	家族と社会	1後		2							1
	家族と福祉	1前・後		2							1
	服装の科学	1前・後		2							2
	ファッションの文化	1前・後		2							1
	色彩の科学	1前		2							1
	健康と食生活	1前・後		2							2
	住まいとデザイン	1後		2							1
	社会福祉の展望	1後		2							1
	加齢と高齢者の科学	1前		2							1
	こどもと育児	1前・後		2							1
	化学	1前・後		2							1
	数理と発想	1前		2							1
	看護の知識	1前・後		2		5					2
	社会貢献と実践	1通年集中		2							2
	心理の科学	1前		2							2
	家族とジェンダー	1前・後		2							1
	人間の発達	1前・後		2							2
	生命の科学	1前・後		2							1
	現代の教育	1前・後		2							3
	文化遺産に学ぶ	1後		2							1
	生命と医療の倫理	1後		2							1
	女性と美容	1前		2							2
	健康の科学	1前・後		2							4
	スポーツ実習	1前・後		1							4
	フィットネス実習	1後		1							2
	海外語学研修	1前・後		2							3
	海外文化研修	1通年集中		2							1
	英語a-I	1前	1								4
	英語a-II	1後	1								4
	英語b-I	1前	1								4
	英語b-II	1後	1								4
	小計（54科目）	－									

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	看護学セミナー	1前	1			11	10	6	6		
	礼法	1前	1								2
	ホスピタリティ	1後	1								1
	アサーティブコミュニケーション	2前	1								1
	解剖生理学Ⅰ	1前	2			1					1
	解剖生理学Ⅱ	1後	2			1					1
	解剖生理学実験	2前	1			1					
	生化学	1前	1								1
	栄養学	2前	1								1
	薬理学	2後	1								1
	病態と治療Ⅰ(内科系)	1後	2								1
	病態と治療Ⅱ(外科系)	2前	2								1
	病態と治療Ⅲ(産婦人科・小児疾患)	2前	2								1
	病態と治療Ⅳ(精神・神経疾患)	2前	2								1
	病理学総論	1後	1								1
	公衆衛生学	2前	1			1		1			2
	社会保障論	3前	1								1
	看護と関係法規	3前	2								1
	疫学	3前	2								1
	保健医療福祉行政論	3前	3								1
	保健医療情報学	1後		2				1			
	保健統計学	3前	2								1
	チーム医療	3前	1								3
	看護理論	2後	1			1					
	看護学概論	1前	2			1					
	看護基本技術Ⅰ(生活の援助技術)	1通	2				2				
	看護基本技術Ⅱ(フィジカルアセスメント)	2通	2				3				
	看護基本技術Ⅲ(臨床看護技術)	2前	2				1				
	看護基本技術Ⅳ(看護の計画と展開)	2後	1			1	3		1		
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			1	6	2	6	5	
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			5	5	2	2	4	
	成人看護学概論	2前	1			2					
	成人看護援助論Ⅰ	2前	2			1		2	1		
	成人看護援助論Ⅱ	2後	2			1	1	1	1		
	成人看護援助論Ⅲ	3前	1				1	1	1		
	成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)	3後	3			2	1	2	2	5	
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期)	3後	3			2	1	2	3	3	
	老年看護学概論	1後	1			1					
	老年看護援助論Ⅰ	2後	2			1	1		1		
	老年看護援助論Ⅱ	3前	1			1	1		1		
	老年看護学実習Ⅰ(施設)	2前	1			1	1	1	4	3	
	老年看護学実習Ⅱ(病院)	3後	2			1	1		3	1	
	老年看護学実習Ⅲ(包括支援センター)	3後	1			2	1	1	2	1	
	小児看護学概論	2前	1			1					
	小児看護援助論Ⅰ	2後	2			1	1	1			
	小児看護援助論Ⅱ	3前	1			1	1	1			
	小児看護学実習	3後	2			1	1	1		1	
	母性看護学概論	2前	1			2					
	母性看護援助論Ⅰ	2後	2			1	1				
	母性看護援助論Ⅱ	3前	1			1	1				
	母性看護学実習	3後	2			2	1		1	1	
	精神看護学概論	2前	1			1	1				
	精神看護援助論Ⅰ	2後	2			1	1	1			
	精神看護援助論Ⅱ	3前	1			1	1	1			
	精神看護学実習	3後	2			1	1	1		1	
	在宅看護学概論	2前	1			1					
	在宅看護援助論Ⅰ	2後	2			1		1			
	在宅看護援助論Ⅱ	3前	1			1		1			
	看護治療技術演習	3前	1			1					5
	在宅看護学実習	4前	2			1		1	1	1	
	公衆衛生看護学概論	1後	2			1					
	公衆衛生看護展開論Ⅰ(地域)	2後		2		1	2				1
	公衆衛生看護展開論Ⅱ(学校保健)	3前		2		1	2				
	公衆衛生看護展開論Ⅲ(産業保健)	2後	2			1	2				
	公衆衛生看護展開論Ⅳ(地域診断)	3前		1		1	2	1			
	公衆衛生看護管理論	3前		1		1					
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(市町村)	4前		2		1	2				
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(保健所)	4前		1		1	2				
	公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業・学校保健)	4前		2		1	2				

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	看護学セミナー	1前	1			11	9	5	6		
	礼法	1前	1								2
	ホスピタリティ	1後	1								1
	アサーティブコミュニケーション	2前	1								1
	解剖生理学Ⅰ	1前	2			1					1
	解剖生理学Ⅱ	1後	2			1					1
	解剖生理学実験	2前	1			1					
	生化学	1前	1								1
	栄養学	2前	1								1
	薬理学	2後	1								1
	病態と治療Ⅰ(内科系)	1後	2								1
	病態と治療Ⅱ(外科系)	2前	2								1
	病態と治療Ⅲ(産婦人科・小児疾患)	2前	2								1
	病態と治療Ⅳ(精神・神経疾患)	2前	2								1
	病理学総論	1後	1								1
	公衆衛生学	2前	1			1		1			2
	社会保障論	3前	1								1
	看護と関係法規	3前	2								1
	疫学	3前	2								1
	保健医療福祉行政論	3前	3								1
	保健医療情報学	1後		2				1			
	保健統計学	3前	2								1
	チーム医療	3前	1								3
	看護理論	2後	1								
	看護学概論	1前	2			1					
	看護基本技術Ⅰ(生活の援助技術)	1通	2				3		1		
	看護基本技術Ⅱ(フィジカルアセスメント)	2通	2				3		1		
	看護基本技術Ⅲ(臨床看護技術)	2前	2				3		1		
	看護基本技術Ⅳ(看護の計画と展開)	2後	1			1	3		1		
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			1	9	4	6	5	
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			5	9	3	5	4	
	成人看護学概論	2前	1			2					
	成人看護援助論Ⅰ	2前	2			1	1	1	1		
	成人看護援助論Ⅱ	2後	2			1	1	1	1		
	成人看護援助論Ⅲ	3前	1			2	1	1	1		
	成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)	3後	3			2	1	1	2	5	
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期)	3後	3			2	1	1	3	3	
	老年看護学概論	1後	1			1					
	老年看護援助論Ⅰ	2後	2			1	1		1		
	老年看護援助論Ⅱ	3前	1			1	1		1		
	老年看護学実習Ⅰ(施設)	2前	1			1	1	1	4	3	
	老年看護学実習Ⅱ(病院)	3後	2			1	1		2	1	
	老年看護学実習Ⅲ(包括支援センター)	3後	1			2	1	1	2	1	
	小児看護学概論	2前	1			1					
	小児看護援助論Ⅰ	2後	2			1	1	1			
	小児看護援助論Ⅱ	3前	1			1	1	1			
	小児看護学実習	3後	2			1	1	1		1	
	母性看護学概論	2前	1			2					
	母性看護援助論Ⅰ	2後	2			1	1				
	母性看護援助論Ⅱ	3前	1			1	1				
	母性看護学実習	3後	2			2	1		1	1	
	精神看護学概論	2前	1			1	1				
	精神看護援助論Ⅰ	2後	2			1	1	1			
	精神看護援助論Ⅱ	3前	1			1	1	1			
	精神看護学実習	3後	2			1	1	1		1	
	在宅看護学概論	2前	1			1					
	在宅看護援助論Ⅰ	2後	2			1		1			
	在宅看護援助論Ⅱ	3前	1			1		1			
	看護治療技術演習	3前	1			1					5
	在宅看護学実習	4前	2			1		1	1	1	
	公衆衛生看護学概論	1後	2			1					
	公衆衛生看護展開論Ⅰ(地域)	2後		2		1	1				1
	公衆衛生看護展開論Ⅱ(学校保健)	3前		2		1	1				
	公衆衛生看護展開論Ⅲ(産業保健)	2後	2			1	1				
	公衆衛生看護展開論Ⅳ(地域診断)	3前		1		1	1	1			
	公衆衛生看護管理論	3前		1		1					
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(市町村)	4前		2		1	1				
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(保健所)	4前		1		1	1				
	公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業・学校保健)	4前		2		1	1				

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	災害と地域看護活動	4後		1							2
	看護倫理	3前	1			1					
	ヘルスプロモーション	1後	1			1					1
	感染看護学	2前	1								2
	国際理解と看護	4後		1							3
	看護教育学	4後		1		1					
	看護マネジメント	4後		1		1		1			
	産業看護学	2前	1								1
	がん看護学	2後	1								1
	看護研究Ⅰ	2前	1			3					
	看護研究Ⅱ	3通	1			11	10	6	4		
	看護研究Ⅲ	4通	2			10	10	6	4		
	看護の統合実践実習	4前	2			11	10	6	6	7	
	小計（82科目）	－									
合計（135科目）		－									

共通総合科目必修6単位、選択14単位以上の計20単位以上、
専門教育科目必修106単位、選択2単位以上を修得し、
計128単位以上を修得すること。
（履修科目の登録の上限：48単位（年間））

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	災害と地域看護活動	4後		1							2
	看護倫理	3前	1			1					
	ヘルスプロモーション	1後	1			1					1
	感染看護学	2前	1								2
	国際理解と看護	4後		1							3
	看護教育学	4後		1		1					
	看護マネジメント	4後		1		1		1			
	産業看護学	2前	1								1
	がん看護学	2後	1								1
	看護研究Ⅰ	2前	1			3					
	看護研究Ⅱ	3通	1			12	9	5	3		
	看護研究Ⅲ	4通	2			12	9	5	3		
	看護の統合実践実習	4前	2			11	9	5	6	7	
	小計（82科目）	－									
合計（136科目）		－									

卒業要件及び履修方法

共通総合科目必修6単位、選択14単位以上の計20単位以上、
専門教育科目必修106単位、選択2単位以上を修得し、
計128単位以上を修得すること。
（履修科目の登録の上限：48単位（年間））

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通総合科目	キャリアデザイン	1前・後		2							2
	基礎ゼミ	1前	2			12	9	6	6		
	パソコンの基礎と応用	1前・後		2							2
	哲学への誘い	1前・後		2							1
	日本の文学	1後		2							2
	外国の文学	1後		2							1
	ジェンダーと文学	1前		2							1
	表現と創作	1前・後		2							2
	こんにちの文化	1前		2							1
	歴史学	1前		2							1
	日本の美術	1前		2							1
	西洋の美術	1後		2							1
	音楽の歴史	1後		2							1
	音楽の楽しみ	1前		2							1
	手書き文字の世界	1前・後		2							1
	漢字・かな文字の変遷	1前・後		2							1
	日本国憲法	1前・後		2							1
	憲法と人権	1前・後		2							1
	国際関係入門	1前・後		2							1
	経済の仕組み	1前・後		2							2
	社会の仕組み	1前・後		2							1
	20世紀の日本	1後		2							1
	家族と社会	1後		2							1
	家族と福祉	1前・後		2							1
	服装の科学	1前・後		2							2
	ファッションの文化	1前・後		2							2
	色彩の科学	1前		2							1
	健康と食生活	1前・後		2							2
	住まいとデザイン	1後		2							1
	社会福祉の展望	1後		2							1
	加齢と高齢者の科学	1前		2							1
	こどもと育児	1前・後		2							1
	化学	1前・後		2							1
	数理と発想	1前		2							1
	看護の知識	1前・後		2		4					2
	社会貢献と実践	1前		2							2
	心理の科学	1前		2							2
	家族とジェンダー	1前・後		2							1
	人間の発達	1前・後		2							2
	生命の科学	1前・後		2							1
	現代の教育	1前・後		2							3
	遺跡に学ぶ	1後		2							0
	生命と医療の倫理	1後		2							1
	女性と美容	1後		2							1
	健康の科学	1前・後		2							3
	スポーツ実習	1前・後		1							3
	フィットネス実習	1後		1							2
	海外語学研修	1前・後		2							3
	海外文化研修	1通年集中		2							1
	英語a-Ⅰ	1前	1								3
	英語a-Ⅱ	1後	1								3
	英語b-Ⅰ	1前	1								3
	英語b-Ⅱ	1後	1								3
	小計（54科目）	－									
専門教育科目	看護学セミナー	1前	1			10	9	5	6		
	礼法	1前	1								2
	ホスピタリティ	1後	1								1
	アサーティブコミュニケーション	2前	1								1
	解剖生理学Ⅰ	1前	2			1					1
	解剖生理学Ⅱ	1後	2			1					1
	解剖生理学実験	2前	1			1					
	生化学	1前	1								1
	栄養学	2前	1								1
	薬理学	2後	1								1
	病態と治療Ⅰ（内科系）	1後	2								3
	病態と治療Ⅱ（外科系）	2前	2								1
	病態と治療Ⅲ（産婦人科・小児疾患）	2前	2								1
	病態と治療Ⅳ（精神・神経疾患）	2前	2								1
	病理学総論	1後	1								3
	公衆衛生学	2前	1			1		1			2
	社会保障論	3前	1								1

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	看護と関係法規	3前	2								1
	疫学	3前	2								1
	保健医療福祉行政論	3前	3								1
	保健医療情報学	1後		2				1			
	保健統計学	3前	2								1
	チーム医療	3前	1								3
	看護理論	2後	1								
	看護学概論	1前	2			1					
	看護基本技術Ⅰ（生活の援助技術）	1通	2				2				
	看護基本技術Ⅱ（フィジカルアセスメント）	2通	2				3				
	看護基本技術Ⅲ（臨床看護技術）	2前	2				1				
	看護基本技術Ⅳ（看護の計画と展開）	2後	1			1	3		1		
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			1	6	2	6	5	
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			5	**4**	2	2	4	
	成人看護学概論	2前	1			2					
	成人看護援助論Ⅰ	2前	2			1		2	1		
	成人看護援助論Ⅱ	2後	2			1	1	1	1		
	成人看護援助論Ⅲ	3前	1				1	1	1		
	成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）	3後	3			2	1	2	2	5	
	成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	3後	3			2	1	2	3	3	
	老年看護学概論	1後	1			1					
	老年看護援助論Ⅰ	2後	2			1	1		1		
	老年看護援助論Ⅱ	3前	1			1	1		1		
	老年看護学実習Ⅰ（施設）	2前	1			1	1	1	4	3	
	老年看護学実習Ⅱ（病院）	3後	2			1	1		3	1	
	老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター）	3後	1			2	1	1	2	1	
	小児看護学概論	2前	1			1					
	小児看護援助論Ⅰ	2後	2			1	1	1			
	小児看護援助論Ⅱ	3前	1			1	1	1			
	小児看護学実習	3後	2			1	1	1		1	
	母性看護学概論	2前	1			2					
	母性看護援助論Ⅰ	2後	2			1	1				
	母性看護援助論Ⅱ	3前	1			1	1				
	母性看護学実習	3後	2			2	1		1	1	
	精神看護学概論	2前	1			**0**	1				
	精神看護援助論Ⅰ	2後	2			**0**	1	**0**			
	精神看護援助論Ⅱ	3前	1			**0**	1	**0**			
	精神看護学実習	3後	2			**0**	1	**0**		1	
	在宅看護学概論	2前	1			1					
	在宅看護援助論Ⅰ	2後	2			1		1			
	在宅看護援助論Ⅱ	3前	1			1		1			
	看護治療技術演習	3前	1			1					5
	在宅看護学実習	4前	2			1		1	1	1	
	公衆衛生看護学概論	1後	2			1					
	公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域）	2後		2		1	**1**				1
	公衆衛生看護展開論Ⅱ（学校保健）	3前		2		1	**1**				
	公衆衛生看護展開論Ⅲ（産業保健）	2後	2			1	**1**				
	公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断）	3前		1		1	**1**	1			
	公衆衛生看護管理論	3前		1		1					
	公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村）	4前		2		1	**1**				
	公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所）	4前		1		1	**1**				
	公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健）	4前		2		1	**1**				
	災害と地域看護活動	4後		1							2
	看護倫理	3前	1			1					
	ヘルスプロモーション	1後	1			1					1
	感染看護学	2前	1								2
	国際理解と看護	4後									
	看護教育学	4後		1		1					
	看護マネジメント	4後		1		1		1			
	産業看護学	2前	1								1
	がん看護学	2後	1								1
	看護研究Ⅰ	2前	1			3					
	看護研究Ⅱ	3通	1			**10**	**9**	**5**	4		
	看護研究Ⅲ	4通	2			10	**9**	**5**	4		
	看護の統合実践実習	4前	2			**10**	**9**	**5**	6	7	
	小計（82科目）	－									
合計（135科目）		－									

卒業要件及び履修方法
共通総合科目必修6単位、選択14単位以上の計20単位以上、 専門教育科目必修106単位、選択2単位以上を修得し、 計128単位以上を修得すること。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成３０年度】

・専任教員の就任辞退により、「基礎ゼミ」の専任教員配置を「教授12」から「教授11」「准教授10」から「准教授9」「講師7」から「講師6」に変更。
・兼担教員の育児休業取得により、「日本の文学」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
・兼任教員の就任１年延期により、「手書き文字の世界」の兼任教員配置を「兼任2」から「兼任1」に変更。
・兼任教員の就任１年延期により、「漢字・かな文字の変遷」の兼任教員配置を「兼任2」から「兼任1」に変更。
・兼担教員の役職者コマ数減により、「社会の仕組み」を兼担教員配置を「兼担2」から「兼担1」に変更。
・兼担教員の役職者コマ数減により、「20世紀の日本」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
・兼担教員の役職者コマ数減により、「家族と社会」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
・申請時の誤表記により、「住まいとデザイン」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
・兼担教員の開講クラス調整により、「数理と発想」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
・専任教員の就任辞退により、「看護の知識」の「教授5」から「教授4」に変更。
・兼担教員の就任辞退により、「遺跡に学ぶ」の兼担教員配置を「兼担1」から「兼担0」に変更。
・兼担教員の担当科目調整により、「スポーツ実習」の兼担教員配置を「兼担2」から「兼担3」に変更。
・兼担教員の担当科目調整により、「フィットネス実習」を兼任教員配置を「兼担1」から「兼任1」に変更。
・申請時の誤表記により、「海外文化研修」の配当年次を「1前・後」から「1通年集中」に変更。
・専任教員の就任辞退により、「看護学セミナー」の専任教員配置を「教授11」から「教授10」「講師1」から「講師0」に変更。

・専任教員の就任辞退により、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員配置を「准教授5」から「准教授4」に変更。
・専任教員の就任辞退により、「精神看護学概論」の専任教員配置を「教授1」から「教授0」に変更。
・専任教員の就任辞退により、「精神看護援助論Ⅰ」「精神看護援助論Ⅱ」「精神看護学実習」の専任教員配置を「教授1」から「教授0」「講師1」から「講師0」に変更。
・専任教員の就任辞退により、「公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域）」「公衆衛生看護展開論Ⅱ（学校保健）」「公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断）」「公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村）」「公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所）」「公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健）」の専任教員配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
・専任教員の就任辞退により、「看護研究Ⅱ」「看護の統合実践実習」の専任教員配置を「教授11」から「教授10」「准教授10」から「准教授9」「講師6」から「講師5」に変更。
・専任教員の就任辞退により、「看護研究Ⅲ」の専任教員配置を「准教授10」から「准教授9」「講師6」から「講師5」に変更。

【令和元年度】

・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「基礎ゼミ」の専任教員配置を「准教授10」から「准教授9」、「講師7」から「講師6」に　変更。
・科目担当者の変更により、「パソコンの基礎と応用」の専任教員配置を「講師0」から「講師1」に変更。兼任・兼担教員配置を「2」から「3」に変更。
・新規開講科目開設に伴い、「ベーシックラーニング」を追加。兼任・兼担教員配置は「3」。
・時間割調整により、「歴史学」の配当年次を「1前」から「1前・後」へ変更
・時間割調整により、「漢字・かな文字の変遷」、「20世紀の日本」、「家族と社会」、「住まいとデザイン」の配当年次をそれぞれ「1前・後」から「1後」へ変更
・時間割調整により、「社会貢献と実践」の配当年次を　「1前」から「1通年集中」へ変更
・時間割調整により、「数理と発想」の配当年次を「1後」から「1前」へ変更
・兼担教員退職により、「ファッションの文化」の兼任・兼担教員配置を「2」から「1」に変更

・Ｈ30休講科目「遺跡に学ぶ」は、科目変更のため、平成31年度から「文化遺産に学ぶ」として開講。「文化遺産に学ぶ」の兼任・兼担教員配置を「0」から「1」に変更。
・科目担当者の役職者コマ減数のため、「女性と美容」の兼任・兼担教員配置を「1」から「2」に変更。時間割調整により、配当年次を「1後」から「1前」へ変更
・指定保育士養成課程を他学科に設置したためクラス増により、「健康の科学」の兼任・兼担教員配置を「3」から「4」、「スポーツ実習」の兼任・兼担教員配置を「2」から「4」、「フィットネス実習」の兼任・兼担教員配置を「1」から「2」に変更。
・クラス増により、「英語a-Ⅰ」「英語a-Ⅱ」「英語ｂ-Ⅰ」「英語ｂ-Ⅱ」の兼任・兼担教員配置を「3」から「4」に変更。

・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「看護学セミナー」の専任教員配置を「准教授10」から「准教授9」、「講師6」から「講師5」に変更。
・専任教員のＡＣ資格審査の結果、「看護基本技術Ⅰ（生活の援助技術）」の専任教員配置を「准教授2」から「准教授3」、「助教0」から「助教1」に変更。
・専任教員のＡＣ資格審査の結果、「看護基本技術Ⅱ（フィジカルアセスメント）」の専任教員配置を、「助教0」から「助教1」に変更。
・専任教員のＡＣ資格審査の結果、「看護基本技術Ⅲ（臨床看護技術）」の専任教員配置を「准教授1」から「准教授3」、「助教0」から「助教1」に変更
・専任教員のＡＣ資格審査の結果、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員配置を「准教授6」から「准教授9」、「講師2」から「講師4」に変更。
・専任教員のＡＣ資格審査の結果、「基礎看護実習Ⅱ」の専任教員配置を、「准教授5」から「准教授9」、「講師2」から「講師3」、「助教2」から「助教5」に変更。
・専任教員の就任辞退及びＡＣ資格審査の結果、「成人看護援助論Ⅰ」の専任教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師2」から「講師1」に変更
・専任教員のＡＣ資格審査の結果、「成人看護援助論Ⅲ」の専任教員配置を「教授0」から「教授2」に変更。
・専任教員の就任辞退及びＡＣ資格審査の結果、「成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）」の専任教員配置を「講師2」から「講師1」に変更。
・専任教員の就任辞退及びＡＣ資格審査の結果、「成人看護学実習Ⅱ（慢性期）」の専任教員配置を「講師2」から「講師1」に変更。
・専任教員の就任辞退及びＡＣ資格審査の結果、「老年看護学実習Ⅱ（病院）」の専任教員配置を「助教3」から「助教2」に変更。

・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「看護研究Ⅱ」の専任教員配置を「教授11」から「教授12」、「准教授10」から「准教授9」、「講師6」から「講師5」、「助教4」から「助教3」に変更。
・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「看護研究Ⅲ」の専任教員配置を「教授10」から「教授12」、「准教授10」から「准教授9」、「講師6」から「講師5」、「助教4」から「助教3」に変更。
・専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「看護の統合実践演習」の専任教員配置を「准教授10」から「准教授9」、「講師6」から「講師5」、に変更。
・専任教員の就任辞退により、「公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域）」「公衆衛生看護展開論Ⅱ（学校保健）」「公衆衛生看護展開論Ⅲ（産業保健）」「公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断）」「公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村）」「公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所）」「公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健）」の専任教員配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
75 科目	60 科目	0 科目	135 科目	75 科目 [　　]	61 科目 [　1　]	0 科目 [　　]	136 科目 [　1　]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{135} = 0\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	和洋国府台女子中学・高等学校（必要面積18,193㎡）と共用（収容定員：680人、高等学校1,070人）
	校舎敷地	9,938 ㎡	34,404 ㎡	4,711 ㎡	49,053 ㎡	
	運動場用地	80,548 ㎡	11,509 ㎡	5,170 ㎡	97,227 ㎡	
	小計	90,486 ㎡	45,913 ㎡	9,881 ㎡	146,280 ㎡	
	その他	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	
	合計	90,486 ㎡	45,913 ㎡	9,881 ㎡	146,280 ㎡	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	和洋国府台女子中学・高等学校（必要面積18,193㎡）と共用（収容定員：680人、高等学校1,070人）
		50,544㎡ （50,544㎡）	2,757㎡ （2,757㎡）	1,564㎡ （1,564㎡）	54,865㎡ （54,865㎡）	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	43 室	27 室	36 室	6 室 （補助職員 0 人）	0 室 （補助職員 0 人）	大学全体

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	看護学部　看護学科	32 室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	看護学部	4615〔470〕 ~~4601〔468〕~~ ~~4500〔450〕~~ （4615〔470〕） （~~2931〔298〕~~） （~~4500〔450〕~~）	46〔6〕 ~~40〔10〕~~ （46〔6〕） （~~0〔0〕~~） （~~40〔10〕~~）	6〔6〕 （6〔6〕）	381 ~~378~~ ~~350~~ （381） （~~186~~） （~~350~~）	6406 ~~5877~~ （6406） （~~5877~~）	20 ~~31~~ （20） （~~31~~）	看護学部就任教員で数回にわたり検討した結果、修正した(30) 図書は年度計画に則り1,680冊を購入したことによる。視聴覚資料については学生の教育の質向上を鑑みて更に購入したことによる（元）
	計	4615〔470〕 ~~4601〔468〕~~ ~~4500〔450〕~~ （4615〔470〕） （~~2931〔298〕~~） （~~4500〔450〕~~）	46〔6〕 ~~40〔10〕~~ （46〔6〕） （~~0〔0〕~~） （~~40〔10〕~~）	6〔6〕 （6〔6〕）	381 ~~378~~ ~~350~~ （381） （~~186~~） （~~350~~）	6406 ~~5877~~ （6406） （~~5877~~）	20 ~~31~~ （20） （~~31~~）	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	3,223 ㎡	400 ~~267~~	321,224 ~~273,925~~	大学全体 看護学部の設置と学生の利用を鑑み閲覧座席数を増やすとともに書架を増設した(30)

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	6,005 ㎡	－	－	

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	申請学部全体
経費の見積り	教員１人当り研究費等	250千円 ~~260~~千円	250千円 ~~260~~千円	図書購入費	24,976千円 ~~24,506~~千円	16,667千円 ~~15,955~~千円	41,643千円 ~~30,255~~千円	図書購入費には、電子ジャーナル、データベース購入費を含む 研究費の算出方法変更（30）
	共同研究費等	2,270千円 ~~980~~千円	2,270千円 ~~980~~千円	設備購入費	194,770千円 ~~210,920~~千円	0千円	0千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,898千円 ~~1,902~~千円 ~~1,850~~千円	1,621千円 ~~1,652~~千円 ~~1,600~~千円	1,621千円 ~~1,652~~千円 ~~1,600~~千円	1,621千円 ~~1,652~~千円 ~~1,600~~千円	－千円	－千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入　他

図書及び設備購入費については再精査の結果、修正した(30)

30年度の金額に差異あり。1年次よりｾﾐﾅｰと諸会費の金額が変更の為修正した(元)

納付金には、セミナー研修費・諸会費の納入があった為変更した(30)

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	和洋女子大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
人文学部	4	360	3年次 22	1514	－	1.00	－	平成20	－	
国際学科	4	120	3年次 6	492	学士（文学）（教養）	0.95	－	平成26	千葉県市川市国府台2-3-1	
日本文学文化学科	4	110	3年次 6	452	学士（文学）	1.03	－	平成20	同上	
心理学科	4	60	3年次 5	280	学士（心理学）	0.95	平成31	平成26	同上	定員変更（△10）
こども発達学科	4	70	3年次 5	290	学士（教育学）	1.11	－	平成26	同上	
家政学部	4	290	3年次 15	1160	－	0.98	－	平成20	－	
服飾造形学科	4	60	3年次 5	310	学士（家政学）	0.88	平成31	平成20	同上	定員変更（△20）
健康栄養学科	4	120	3年次 5	490	学士（家政学）	1.10	－	平成20	同上	
家政福祉学科	4	110	3年次 5	360	学士（家政学）	0.92	平成31	平成20	同上	定員変更（30）
看護学部	4	100	0	200	－	1.17	－	平成30	－	
看護学科	4	100	0	200	学士（看護学）	1.17	－	平成30	千葉県市川市国府台2-1-18	
大学全体	4	750	37	2874	－	1.00	－	－	－	

大学の名称	和洋女子大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
人文科学研究科	2	10	－	20	－	0.05	－	平成14	－	
英語文学専攻修士課程	2	5	－	10	修士（文学）	0.00	－	平成14	千葉県市川市国府台2-3-1	
日本文学専攻修士課程	2	5	－	10	修士（文学）	0.10	－	平成14	同上	
総合生活研究科	－	11	－	25	－	0.30	－	平成14	－	
総合生活専攻博士前期課程	2	8	－	16	修士（家政学）	0.31	－	平成14	同上	
総合生活専攻博士後期課程	3	3	－	9	博士（家政学）（学術）	0.55	－	平成21	同上	
大学院　計	－	21	－	45	－	0.17	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

５　教員組織の状況

＜看護学部　看護学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	刀根　洋子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 母性看護学概論 母性看護学実習 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	篠原　百合子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 精神看護学概論 精神看護援助論Ⅰ 精神看護援助論Ⅱ 精神看護学実習 看護研究Ⅱ 看護の統合実践実習
専	教授	石津　みゑ子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護理論 看護学概論 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	金子　みち代 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学実験
専	教授	白鳥　孝子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 看護倫理 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	新谷　奈苗 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 公衆衛生学 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域） 公衆衛生看護展開論Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護展開論Ⅲ（産業保健） 公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断） 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健） ヘルスプロモーション 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	刀根　洋子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 母性看護学概論 母性看護学実習 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	石津　みゑ子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護理論 看護学概論 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	金子　みち代 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学実験
専	教授	白鳥　孝子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 看護倫理 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	新谷　奈苗 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 公衆衛生学 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域） 公衆衛生看護展開論Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護展開論Ⅲ（産業保健） 公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断） 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健） ヘルスプロモーション 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	刀根　洋子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 母性看護学概論 母性看護学実習 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	石津　みゑ子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護理論 看護学概論 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	金子　みち代 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学実験 **看護研究Ⅱ** **看護研究Ⅲ**
専	教授	白鳥　孝子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ **成人看護援助論Ⅲ** 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 看護倫理 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	新谷　奈苗 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 公衆衛生学 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域） 公衆衛生看護展開論Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護展開論Ⅲ（産業保健） 公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断） 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健） ヘルスプロモーション 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	竹内　久美子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護基本技術Ⅳ（看護の計画と展開） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護教育学 看護マネジメント 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	中垣　紀子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学概論 小児看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ 小児看護学実習 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	中澤　明美 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 老年看護学概論 老年看護援助論Ⅰ 老年看護援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ(施設) 老年看護学実習Ⅱ(病院) 老年看護学実習Ⅲ(包括支援センター) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	原田　光子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 在宅看護学概論 在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ 看護治療技術演習 在宅看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	宮内　清子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護学概論 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ 母性看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	渡邉　知子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	新井　敏子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	上松　恵子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 小児看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ 小児看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	竹内　久美子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護基本技術Ⅳ（看護の計画と展開） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護教育学 看護マネジメント 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	中垣　紀子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学概論 小児看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ 小児看護学実習 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	中澤　明美 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 老年看護学概論 老年看護援助論Ⅰ 老年看護援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ(施設) 老年看護学実習Ⅱ(病院) 老年看護学実習Ⅲ(包括支援センター) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	原田　光子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 在宅看護学概論 在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ 看護治療技術演習 在宅看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	宮内　清子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護学概論 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ 母性看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	渡邉　知子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	新井　敏子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	上松　恵子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 小児看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ 小児看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	竹内　久美子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護基本技術Ⅳ（看護の計画と展開） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護教育学 看護マネジメント 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	中垣　紀子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学概論 小児看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ 小児看護学実習 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	中澤　明美 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護の知識 看護学セミナー 老年看護学概論 老年看護援助論Ⅰ 老年看護援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ(施設) 老年看護学実習Ⅱ(病院) 老年看護学実習Ⅲ(包括支援センター) 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	原田　光子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 在宅看護学概論 在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ 看護治療技術演習 在宅看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	宮内　清子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護学概論 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ 母性看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	渡邉　知子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅱ **成人看護援助論Ⅲ** 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	新井　敏子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ **成人看護援助論Ⅰ** 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	上松　恵子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー **基礎看護学実習Ⅰ** **基礎看護学実習Ⅱ** 小児看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ 小児看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	大谷　則子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護基本技術Ⅰ（生活の援助技術） 看護基本技術Ⅱ（フィジカルアセスメント） 看護基本技術Ⅳ（看護の計画と展開） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	小笠原　祐子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護基本技術Ⅰ（生活の援助技術） 看護基本技術Ⅱ（フィジカルアセスメント） 看護基本技術Ⅳ（看護の計画と展開） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	釜屋　洋子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 老年看護援助論Ⅰ 老年看護援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ（施設） 老年看護学実習Ⅱ（病院） 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	河村　秋 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域） 公衆衛生看護展開論Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護展開論Ⅲ（産業保健） 公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断） 公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	立川　茂樹 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域） 公衆衛生看護展開論Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護展開論Ⅲ（産業保健） 公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断） 公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	寺岡　征太郎 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 精神看護学概論 精神看護援助論Ⅰ 精神看護援助論Ⅱ 精神看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	大谷　則子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護基本技術Ⅰ（生活の援助技術） 看護基本技術Ⅱ（フィジカルアセスメント） 看護基本技術Ⅳ（看護の計画と展開） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	小笠原　祐子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護基本技術Ⅰ（生活の援助技術） 看護基本技術Ⅱ（フィジカルアセスメント） 看護基本技術Ⅳ（看護の計画と展開） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	釜屋　洋子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 老年看護援助論Ⅰ 老年看護援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ（施設） 老年看護学実習Ⅱ（病院） 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	河村　秋 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域） 公衆衛生看護展開論Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護展開論Ⅲ（産業保健） 公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断） 公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	寺岡　征太郎 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 精神看護学概論 精神看護援助論Ⅰ 精神看護援助論Ⅱ 精神看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	大谷　則子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護基本技術Ⅰ（生活の援助技術） 看護基本技術Ⅱ（フィジカルアセスメント） **看護基本技術Ⅲ（臨床看護技術）** 看護基本技術Ⅳ（看護の計画と展開） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	小笠原　祐子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護基本技術Ⅰ（生活の援助技術） 看護基本技術Ⅱ（フィジカルアセスメント） **看護基本技術Ⅲ（臨床看護技術）** 看護基本技術Ⅳ（看護の計画と展開） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	釜屋　洋子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ **基礎看護学実習Ⅱ** 老年看護援助論Ⅰ 老年看護援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ（施設） 老年看護学実習Ⅱ（病院） 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	河村　秋 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ **基礎看護学実習Ⅱ** 公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域） 公衆衛生看護展開論Ⅱ（学校保健） 公衆衛生看護展開論Ⅲ（産業保健） 公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断） 公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村） 公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所） 公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	寺岡　征太郎 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー **基礎看護学実習Ⅰ** **基礎看護学実習Ⅱ** 精神看護学概論 精神看護援助論Ⅰ 精神看護援助論Ⅱ 精神看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	土井　一浩 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護基本技術Ⅱ（フィジカルアセスメント） 看護基本技術Ⅲ（臨床看護技術） 看護基本技術Ⅳ（看護の計画と展開） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	藤井　美穂子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ 母性看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	講師	小野坂　益成 ＜平成31年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 精神看護援助論Ⅰ 精神看護援助論Ⅱ 精神看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	講師	恩田　清美 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 小児看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ 小児看護学実習 看護マネジメント 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	講師	嶋野　ひさ子 ＜平成31年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護援助論Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	講師	鈴木　裕子 ＜平成33年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ 在宅看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
兼任	講師	鈴木　裕子 ＜平成31年4月＞	在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ
専	講師	段ノ上　秀雄 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	土井　一浩 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護基本技術Ⅱ（フィジカルアセスメント） 看護基本技術Ⅲ（臨床看護技術） 看護基本技術Ⅳ（看護の計画と展開） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	藤井　美穂子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ 母性看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	講師	恩田　清美 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 小児看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ 小児看護学実習 看護マネジメント 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	講師	嶋野　ひさ子 ＜平成31年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護援助論Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	講師	鈴木　裕子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ 在宅看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	講師	鈴木　裕子 ＜平成30年4月＞	在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ
専	講師	段ノ上　秀雄 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	土井　一浩 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー **看護基本技術Ⅰ（生活の援助技術）** 看護基本技術Ⅱ（フィジカルアセスメント） 看護基本技術Ⅲ（臨床看護技術） 看護基本技術Ⅳ（看護の計画と展開） 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	准教授	藤井　美穂子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー **基礎看護学実習Ⅰ** **基礎看護学実習Ⅱ** 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ 母性看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	講師	恩田　清美 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー **基礎看護学実習Ⅰ** **基礎看護学実習Ⅱ** 小児看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ 小児看護学実習 看護マネジメント 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	講師	鈴木　裕子 **＜平成30年4月＞**	基礎ゼミ 看護学セミナー **基礎看護学実習Ⅰ** 在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ 在宅看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	講師	鈴木　裕子 **＜平成30年4月＞**	在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ
専	講師	段ノ上　秀雄 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	永岡　裕康 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 公衆衛生学 保健医療情報学 公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断）
専	講師	丸上　輝剛 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅰ（施設） 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	助教	井上　智栄子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 在宅看護学実習 看護の統合実践実習
専	助教	小川　明佳 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護基本技術Ⅳ(看護の計画と展開) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ（施設） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	助教	鶴渕　礼子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学実習 看護の統合実践実習
専	助教	日野　徳子 ＜平成31年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 老年看護学実習Ⅰ（施設） 老年看護学実習Ⅱ（病院） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	助教	山下　菜穂子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 老年看護援助論Ⅰ 老年看護援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ（施設） 老年看護学実習Ⅱ（病院） 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	永岡　裕康 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 公衆衛生学 保健医療情報学 公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断）
専	講師	丸上　輝剛 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅰ（施設） 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	助教	井上　智栄子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 在宅看護学実習 看護の統合実践実習
専	助教	小川　明佳 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 看護基本技術Ⅳ(看護の計画と展開) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ（施設） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	助教	鶴渕　礼子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学実習 看護の統合実践実習
専	助教	日野　徳子 ＜平成31年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 老年看護学実習Ⅰ（施設） 老年看護学実習Ⅱ（病院） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	助教	山下　菜穂子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 老年看護援助論Ⅰ 老年看護援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ（施設） 老年看護学実習Ⅱ（病院） 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	永岡　裕康 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ **パソコンの基礎と応用** 公衆衛生学 保健医療情報学 公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断） **看護研究Ⅱ** **看護研究Ⅲ**
専	講師	丸上　輝剛 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ **基礎看護学実習Ⅱ** 老年看護学実習Ⅰ（施設） 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	助教	井上　智栄子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 在宅看護学実習 看護の統合実践実習
専	助教	小川　明佳 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー **看護基本技術Ⅰ（生活の援助技術）** **看護基本技術Ⅱ（フィジカルアセスメント）** **看護基本技術Ⅲ（臨床看護技術）** 看護基本技術Ⅳ(看護の計画と展開) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ（施設） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	助教	鶴渕　礼子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ **基礎看護学実習Ⅱ** 母性看護学実習 看護の統合実践実習
専	助教	山下　菜穂子 ＜平成30年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ **基礎看護学実習Ⅱ** 老年看護援助論Ⅰ 老年看護援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ（施設） 老年看護学実習Ⅱ（病院） 老年看護学実習Ⅲ（包括支援センター） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	山下　尚美 ＜平成31年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 老年看護学実習Ⅰ（施設） 老年看護学実習Ⅱ（病院） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
兼担	教授	鬘谷　要 ＜平成30年4月＞	化学 色彩の科学 数理と発想
兼担	教授	金丸　裕志 ＜平成30年4月＞	20世紀の日本
兼担	教授	金子　健彦 ＜平成30年4月＞	女性と美容 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 病理学総論 公衆衛生学 チーム医療
兼担	教授	河内山　有佐 ＜平成30年4月＞	海外語学研修 英語a-Ⅰ 英語a-Ⅱ 英語b-Ⅰ 英語b-Ⅱ
兼担	教授	小林　勉 ＜平成30年4月＞	住まいとデザイン
兼担	教授	駒見　和夫 ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン 遺跡に学ぶ
兼担	教授	櫻井　洋一 ＜平成30年4月＞	生命と医療の倫理
兼担	教授	迫村　純男 ＜平成30年4月＞	英語a-Ⅰ 英語a-Ⅱ 英語b-Ⅰ 英語b-Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	山下　尚美 ＜平成31年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 老年看護学実習Ⅰ（施設） 老年看護学実習Ⅱ（病院） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
兼担	教授	鬘谷　要 ＜平成30年4月＞	化学 色彩の科学 数理と発想
兼担	教授	金丸　裕志 ＜平成30年4月＞	20世紀の日本
兼担	教授	金子　健彦 ＜平成30年4月＞	女性と美容 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 病理学総論 公衆衛生学 チーム医療
兼担	教授	河内山　有佐 ＜平成30年4月＞	海外語学研修
兼担	教授	小林　勉 ＜平成30年4月＞	住まいとデザイン
兼担	教授	迫村　純男 ＜平成30年4月＞	英語a-Ⅰ 英語a-Ⅱ 英語b-Ⅰ 英語b-Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	山下　尚美 ＜平成31年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 老年看護学実習Ⅰ（施設） 老年看護学実習Ⅱ（病院） 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	教授	金子　眞理子 ＜平成31年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 精神看護学概論 精神看護援助論Ⅰ 精神看護援助論Ⅱ 精神看護学実習 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅲ 看護の統合実践実習
専	講師	筧　亮子 ＜平成31年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 精神看護援助論Ⅰ 精神看護援助論Ⅱ 精神看護学実習 看護の統合実践実習
専	助教	岡島（中西）志野 ＜平成31年4月＞	基礎ゼミ 看護学セミナー 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期） 成人看護学実習Ⅱ（慢性期） 老年看護学実習Ⅰ（施設） 看護の統合実践実習
兼担	教授	鬘谷　要 ＜平成30年4月＞	パソコンの基礎と応用 化学 色彩の科学 数理と発想
兼担	教授	金丸　裕志 ＜平成30年4月＞	20世紀の日本
兼担	教授	金子　健彦 ＜平成30年4月＞	女性と美容 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 病理学総論 公衆衛生学 チーム医療
兼担	教授	小林　勉 ＜平成30年4月＞	住まいとデザイン
兼担	教授	迫村　純男 ＜平成30年4月＞	英語a-Ⅰ 英語a-Ⅱ 英語b-Ⅰ 英語b-Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	佐藤　宏子 ＜平成30年4月＞	家族とジェンダー
兼担	教授	島田　由紀子 ＜平成30年4月＞	現代の教育
兼担	教授	嶋根　歌子 ＜平成30年4月＞	服装の科学 看護の知識
兼担	教授	庄司　妃佐 ＜平成30年4月＞	加齢と高齢者の科学
兼担	教授	髙久田　佳津子 ＜平成30年4月＞	海外語学研修
兼担	教授	中村　威久水 ＜平成30年4月＞	日本の美術 西洋の美術
兼担	教授	菱田　隆昭 ＜平成30年4月＞	現代の教育
兼担	教授	日向　清人 ＜平成30年4月＞	英語a-Ⅰ 英語a-Ⅱ 英語b-Ⅰ 英語b-Ⅱ
兼担	教授	古畑　公 ＜平成30年4月＞	健康と食生活
兼担	教授	湊　久美子 ＜平成30年4月＞	社会貢献と実践 健康の科学 フィットネス実習
兼担	教授	山下　景秋 ＜平成30年4月＞	経済の仕組み
兼担	教授	李　明伍 ＜平成30年4月＞	家族と社会 社会の仕組み
兼担	准教授	池田　幸恭 ＜平成30年4月＞	心理の科学
兼担	准教授	大神　優子 ＜平成30年4月＞	人間の発達
兼担	准教授	岡本　秀明 ＜平成30年4月＞	家族と福祉
兼担	准教授	小沢　哲史 ＜平成30年4月＞	人間の発達
兼担	准教授	黒田　誠 ＜平成30年4月＞	こんにちの文化
兼担	准教授	駒　久美子 ＜平成30年4月＞	現代の教育
兼担	准教授	佐藤　淳一 ＜平成30年4月＞	表現と創作
兼担	准教授	佐藤　まゆみ ＜平成30年4月＞	社会福祉の展望 社会貢献と実践
兼担	准教授	秦泉寺　友紀 ＜平成30年4月＞	社会の仕組み
兼担	准教授	杉浦　功一 ＜平成30年4月＞	国際関係入門
兼担	准教授	杉浦　令子 ＜平成32年4月＞	チーム医療

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	嶋根　歌子 ＜平成30年4月＞	服装の科学 看護の知識
兼担	教授	庄司　妃佐 ＜平成30年4月＞	加齢と高齢者の科学
兼担	教授	髙久田　佳津子 ＜平成30年4月＞	海外語学研修
兼担	教授	中村　威久水 ＜平成30年4月＞	日本の美術 西洋の美術
兼担	教授	菱田　隆昭 ＜平成30年4月＞	現代の教育
兼担	教授	日向　清人 ＜平成30年4月＞	英語a-Ⅰ 英語a-Ⅱ 英語b-Ⅰ 英語b-Ⅱ
兼担	教授	古畑　公 ＜平成30年4月＞	健康と食生活
兼担	教授	湊　久美子 ＜平成30年4月＞	社会貢献と実践 健康の科学 **スポーツ実習** フィットネス実習
兼担	教授	山下　景秋 ＜平成30年4月＞	経済の仕組み
兼担	教授	李　明伍 ＜平成30年4月＞	家族と社会
兼担	准教授	岡本　秀明 ＜平成30年4月＞	家族と福祉
兼担	准教授	小沢　哲史 ＜平成30年4月＞	人間の発達
兼担	准教授	黒田　誠 ＜平成30年4月＞	こんにちの文化
兼担	准教授	駒　久美子 ＜平成30年4月＞	現代の教育
兼担	准教授	佐藤　淳一 ＜平成30年4月＞	表現と創作
兼担	准教授	佐藤　まゆみ ＜平成30年4月＞	社会福祉の展望 社会貢献と実践
兼担	准教授	秦泉寺　友紀 ＜平成30年4月＞	社会の仕組み
兼担	准教授	杉浦　功一 ＜平成30年4月＞	国際関係入門
兼担	准教授	杉浦　令子 ＜平成32年4月＞	チーム医療

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	嶋根　歌子 ＜平成30年4月＞	服装の科学 看護の知識
兼担	教授	庄司　妃佐 ＜平成30年4月＞	加齢と高齢者の科学
兼担	教授	中村　威久水 ＜平成30年4月＞	日本の美術 西洋の美術
兼担	教授	菱田　隆昭 ＜平成30年4月＞	現代の教育
兼担	教授	日向　清人 ＜平成30年4月＞	英語a-Ⅰ 英語a-Ⅱ 英語b-Ⅰ 英語b-Ⅱ
兼担	教授	古畑　公 ＜平成30年4月＞	健康と食生活
兼担	教授	湊　久美子 ＜平成30年4月＞	社会貢献と実践 健康の科学 **スポーツ実習** フィットネス実習
兼担	教授	山下　景秋 ＜平成30年4月＞	経済の仕組み
兼担	教授	**里正　明伍** ＜平成30年4月＞	家族と社会
兼担	准教授	岡本　秀明 ＜平成30年4月＞	家族と福祉
兼担	**教授**	小沢　哲史 ＜平成30年4月＞	人間の発達
兼担	准教授	黒田　誠 ＜平成30年4月＞	こんにちの文化
兼担	准教授	佐藤　淳一 ＜平成30年4月＞	**ベーシックラーニング** 表現と創作
兼担	准教授	秦泉寺　友紀 ＜平成30年4月＞	社会の仕組み
兼担	**教授**	杉浦　功一 ＜平成30年4月＞	国際関係入門
兼担	准教授	杉浦　令子 ＜平成32年4月＞	チーム医療

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	多賀　昌樹 ＜平成30年4月＞	健康と食生活
兼担	准教授	髙木　憲司 ＜平成32年4月＞	社会保障論
兼担	准教授	寺島　瞳 ＜平成30年4月＞	心理の科学
兼担	准教授	延澤　直樹 ＜平成30年4月＞	ファッションの文化
兼担	准教授	藤丸　麻紀 ＜平成30年4月＞	経済の仕組み
兼担	准教授	山本　高美 ＜平成30年4月＞	パソコンの基礎と応用 服装の科学
兼担	講師	Jennifer R Morgan ＜平成30年4月＞	海外語学研修
兼担	助教	伊瀬　玲奈 ＜平成30年4月＞	こどもと育児
兼担	助教	梅山　聡 ＜平成30年4月＞	日本の文学
兼担	助教	織田　奈緒子 ＜平成30年4月＞	ファッションの文化
兼担	助教	上村　明 ＜平成30年4月＞	健康の科学 スポーツ実習
兼担	助教	木村　尚志 ＜平成30年4月＞	日本の文学 表現と創作 海外文化研修
兼担	助教	永澤　貴昭 ＜平成30年4月＞	健康の科学
兼担	助教	星野　文子 ＜平成30年4月＞	外国の文学 ジェンダーと文学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	多賀　昌樹 ＜平成30年4月＞	健康と食生活
兼担	准教授	髙木　憲司 ＜平成32年4月＞	社会保障論
兼担	准教授	寺島　瞳 ＜平成30年4月＞	心理の科学
兼担	准教授	延澤　直樹 ＜平成30年4月＞	ファッションの文化
兼担	准教授	藤丸　麻紀 ＜平成30年4月＞	経済の仕組み
兼担	准教授	山本　高美 ＜平成30年4月＞	パソコンの基礎と応用 服装の科学
兼担	講師	Jennifer R Morgan ＜平成30年4月＞	海外語学研修
兼担	助教	梅山　聡 ＜平成30年4月＞	日本の文学
兼担	助教	織田　奈緒子 ＜平成30年4月＞	ファッションの文化
兼担	助教	上村　明 ＜平成30年4月＞	健康の科学 スポーツ実習
兼担	助教	木村　尚志 ＜平成30年4月＞	日本の文学 表現と創作
兼担	助教	永澤　貴昭 ＜平成30年4月＞	健康の科学
兼担	助教	星野　文子 ＜平成30年4月＞	外国の文学 ジェンダーと文学
兼担	**教授**	**鈴木　葉子** **＜平成30年4月＞**	**生命と医療の倫理**
兼担	**教授**	**原子　はるみ** **＜平成30年4月＞**	**こどもと育児**
兼担	**准教授**	**金井　智恵子** **＜平成30年4月＞**	**人間の発達**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	多賀　昌樹 ＜平成30年4月＞	健康と食生活
兼担	准教授	髙木　憲司 ＜平成32年4月＞	社会保障論
兼担	准教授	寺島　瞳 ＜平成30年4月＞	心理の科学
兼担	准教授	藤丸　麻紀 ＜平成30年4月＞	経済の仕組み
兼担	准教授	山本　高美 ＜平成30年4月＞	パソコンの基礎と応用 服装の科学
兼担	助教	梅山　聡 ＜平成30年4月＞	日本の文学
兼担	助教	織田　奈緒子 ＜平成30年4月＞	ファッションの文化
兼担	助教	上村　明 ＜平成30年4月＞	健康の科学 スポーツ実習
兼担	**准教授**	木村　尚志 ＜平成30年4月＞	日本の文学 表現と創作
兼担	助教	永澤　貴昭 ＜平成30年4月＞	健康の科学
兼担	助教	星野　文子 ＜平成30年4月＞	外国の文学 ジェンダーと文学
兼担	**教授**	**鈴木　葉子** **＜平成30年4月＞**	**生命と医療の倫理**
兼担	**教授**	**加藤　紫識** **＜平成31年4月＞**	**文化遺産に学ぶ**
兼担	**教授**	**原子　はるみ** **＜平成30年4月＞**	**こどもと育児**
兼担	**准教授**	**金井　智恵子** **＜平成30年4月＞**	**人間の発達**
兼担	**准教授**	**清水　冬樹** **＜平成31年4月＞**	**社会福祉の展望** **社会貢献と実践**
兼担	**准教授**	**弓削田　綾乃** **＜平成31年4月＞**	**スポーツ実習**
兼担	**講師**	**ダラ・フランシス・ラングレイ** **＜平成31年4月＞**	**海外語学研修**
兼担	**講師**	**ベンジャミン・オーラ** **＜平成31年4月＞**	**海外語学研修**
兼担	**助教**	**内田　翔大** **＜平成31年4月＞**	**海外語学研修**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	青柳　信嘉 ＜平成31年4月＞	病態と治療Ⅱ（外科系）
兼任	講師	浅川　孝司 ＜平成32年4月＞	看護治療技術演習
兼任	講師	阿部　正二 ＜平成30年4月＞	看護の知識
兼任	講師	石川　圭一 ＜平成30年4月＞	手書き文字の世界 漢字・かな文字の変遷
兼任	講師	市野　由香 ＜平成32年4月＞	チーム医療 看護治療技術演習
兼任	講師	植田　幹男 ＜平成30年4月＞	生化学
兼任	講師	遠藤　英子 ＜平成31年4月＞	感染看護学
兼任	講師	大石　時子 ＜平成33年4月＞	国際理解と看護
兼任	講師	小田　清一 ＜平成32年4月＞	看護と関係法規 保健医療福祉行政論
兼任	講師	鹿倉　壮史 ＜平成30年4月＞	手書き文字の世界
兼任	講師	加藤　将貴 ＜平成30年4月＞	パソコンの基礎と応用
兼任	講師	河野　公子 ＜平成31年4月＞	栄養学
兼任	講師	日下部　貴 ＜平成31年4月＞	公衆衛生学 災害と地域看護活動
兼任	講師	河野　啓子 ＜平成31年4月＞	産業看護学
兼任	講師	香山（古金谷）　綾子 ＜平成30年4月＞	生命の科学
兼任	講師	小松　稚菜 ＜平成30年4月＞	礼法
兼任	講師	小室　敬幸 ＜平成30年4月＞	音楽の歴史 音楽の楽しみ
兼任	講師	近藤(佐藤)　麻理 ＜平成33年4月＞	国際理解と看護
兼任	講師	近藤　陽子 ＜平成31年4月＞	感染看護学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	中村　光絵 ＜平成30年4月＞	現代の教育
兼任	講師	青柳　信嘉 ＜平成31年4月＞	病態と治療Ⅱ（外科系）
兼任	講師	浅川　孝司 ＜平成32年4月＞	看護治療技術演習
兼任	講師	阿部　正二 ＜平成30年4月＞	看護の知識
兼任	講師	市野　由香 ＜平成32年4月＞	チーム医療 看護治療技術演習
兼任	講師	植田　幹男 ＜平成30年4月＞	生化学
兼任	講師	遠藤　英子 ＜平成31年4月＞	感染看護学
兼任	講師	大石　時子 ＜平成33年4月＞	国際理解と看護
兼任	講師	小田　清一 ＜平成32年4月＞	看護と関係法規 保健医療福祉行政論
兼任	講師	加藤　将貴 ＜平成30年4月＞	パソコンの基礎と応用
兼任	講師	河野　公子 ＜平成31年4月＞	栄養学
兼任	講師	日下部　貴 ＜平成31年4月＞	公衆衛生学 災害と地域看護活動
兼任	講師	河野　啓子 ＜平成31年4月＞	産業看護学
兼任	講師	香山（古金谷）　綾子 ＜平成30年4月＞	生命の科学
兼任	講師	小室　敬幸 ＜平成30年4月＞	音楽の歴史 音楽の楽しみ
兼任	講師	近藤(佐藤)　麻理 ＜平成33年4月＞	国際理解と看護
兼任	講師	近藤　陽子 ＜平成31年4月＞	感染看護学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	大塚　千紗子 ＜平成31年4月＞	ベーシックラーニング
兼担	助教	甲斐　万里子 ＜平成31年4月＞	現代の教育
兼担	助教	中村　光絵 ＜平成30年4月＞	現代の教育
兼任	講師	青柳　信嘉 ＜平成31年4月＞	病態と治療Ⅱ（外科系）
兼任	講師	浅川　孝司 ＜平成32年4月＞	看護治療技術演習
兼任	講師	石川　圭一 ＜平成31年4月＞	漢字・かな文字の変遷
兼任	講師	市野　由香 ＜平成32年4月＞	チーム医療 看護治療技術演習
兼任	講師	植田　幹男 ＜平成30年4月＞	ベーシックラーニング 生化学
兼任	講師	遠藤　英子 ＜平成31年4月＞	感染看護学
兼任	講師	大石　時子 ＜平成33年4月＞	国際理解と看護
兼任	講師	小田　清一 ＜平成32年4月＞	看護と関係法規 保健医療福祉行政論
兼任	講師	加藤　将貴 ＜平成30年4月＞	パソコンの基礎と応用
兼任	講師	河野　公子 ＜平成31年4月＞	栄養学
兼任	講師	日下部　貴 ＜平成31年4月＞	公衆衛生学 災害と地域看護活動
兼任	講師	河野　啓子 ＜平成31年4月＞	産業看護学
兼任	講師	香山（古金谷）　綾子 ＜平成30年4月＞	生命の科学
兼任	講師	小室　敬幸 ＜平成30年4月＞	音楽の歴史 音楽の楽しみ
兼任	講師	近藤(佐藤)　麻理 ＜平成33年4月＞	国際理解と看護
兼任	講師	近藤　陽子 ＜平成31年4月＞	感染看護学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤　禮子 ＜平成30年4月＞	公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域） ヘルスプロモーション がん看護学
兼任	講師	杉山　篤 ＜平成31年4月＞	薬理学
兼任	講師	高松　潔 ＜平成31年4月＞	病態と治療Ⅲ(産婦人科・小児疾患)
兼任	講師	田中　はる美 ＜平成30年4月＞	礼法
兼任	講師	戸田　里和 ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン
兼任	講師	苫米地　則子 ＜平成33年4月＞	国際理解と看護
兼任	講師	豊川　智之 ＜平成32年4月＞	疫学 保健統計学
兼任	講師	早川(長嶋)　理穂 ＜平成30年4月＞	歴史学
兼任	講師	難波　秀行 ＜平成30年4月＞	スポーツ実習
兼任	講師	西塚　俊太 ＜平成30年4月＞	哲学への誘い
兼任	講師	野村　和孝 ＜平成31年4月＞	アサーティブコミュニケーション
兼任	講師	服部　裕美子 ＜平成30年4月＞	ホスピタリティ
兼任	講師	早川　達郎 ＜平成31年4月＞	病態と治療Ⅳ（精神・神経疾患）
兼任	講師	日野　勝吾 ＜平成30年4月＞	日本国憲法 憲法と人権
兼任	講師	柳内　秀勝 ＜平成30年4月＞	病態と治療Ⅰ（内科系）
兼任	講師	矢吹　智美 ＜平成32年4月＞	看護治療技術演習
兼任	講師	山崎　みつ江 ＜平成33年4月＞	災害と地域看護活動
兼任	講師	山本　直史 ＜平成32年4月＞	看護治療技術演習
兼任	講師	四ツ屋　真由美 ＜平成32年4月＞	看護治療技術演習
兼任	講師	綿引　浩一 ＜平成30年4月＞	漢字・かな文字の変遷

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤　禮子 ＜平成30年4月＞	公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域） ヘルスプロモーション がん看護学
兼任	講師	杉山　篤 ＜平成31年4月＞	薬理学
兼任	講師	高松　潔 ＜平成31年4月＞	病態と治療Ⅲ(産婦人科・小児疾患)
兼任	講師	田中　はる美 ＜平成30年4月＞	礼法
兼任	講師	戸田　里和 ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン
兼任	講師	苫米地　則子 ＜平成33年4月＞	国際理解と看護
兼任	講師	豊川　智之 ＜平成32年4月＞	疫学 保健統計学
兼任	講師	難波　秀行 ＜平成30年4月＞	スポーツ実習
兼任	講師	西塚　俊太 ＜平成30年4月＞	哲学への誘い
兼任	講師	野村　和孝 ＜平成31年4月＞	アサーティブコミュニケーション
兼任	講師	服部　裕美子 ＜平成30年4月＞	ホスピタリティ
兼任	講師	早川　達郎 ＜平成31年4月＞	病態と治療Ⅳ（精神・神経疾患）
兼任	講師	日野　勝吾 ＜平成30年4月＞	日本国憲法 憲法と人権
兼任	講師	柳内　秀勝 ＜平成30年4月＞	病態と治療Ⅰ（内科系）
兼任	講師	矢吹　智美 ＜平成32年4月＞	看護治療技術演習
兼任	講師	山崎　みつ江 ＜平成33年4月＞	災害と地域看護活動
兼任	講師	山本　直史 ＜平成32年4月＞	看護治療技術演習
兼任	講師	四ツ屋　真由美 ＜平成32年4月＞	看護治療技術演習
兼任	講師	綿引　浩一 ＜平成30年4月＞	漢字・かな文字の変遷
兼任	**講師**	**宇佐美　かおる ＜平成30年4月＞**	**フィットネス実習**
兼任	**講師**	**及川　有紀子 ＜平成30年4月＞**	**礼法**
兼任	**講師**	**大森　美佐 ＜平成30年4月＞**	**家族とジェンダー**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤　禮子 ＜平成30年4月＞	公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域） ヘルスプロモーション がん看護学
兼任	講師	杉山　篤 ＜平成31年4月＞	薬理学
兼任	講師	高松　潔 ＜平成31年4月＞	病態と治療Ⅲ(産婦人科・小児疾患)
兼任	講師	田中　はる美 ＜平成30年4月＞	礼法
兼任	講師	戸田　里和 ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン
兼任	講師	苫米地　則子 ＜平成33年4月＞	国際理解と看護
兼任	講師	豊川　智之 ＜平成32年4月＞	疫学 保健統計学
兼任	講師	難波　秀行 ＜平成30年4月＞	スポーツ実習
兼任	講師	野村　和孝 ＜平成31年4月＞	アサーティブコミュニケーション
兼任	講師	服部　裕美子 ＜平成30年4月＞	ホスピタリティ
兼任	講師	早川　達郎 ＜平成31年4月＞	病態と治療Ⅳ（精神・神経疾患）
兼任	講師	日野　勝吾 ＜平成30年4月＞	日本国憲法 憲法と人権
兼任	講師	柳内　秀勝 ＜平成30年4月＞	病態と治療Ⅰ（内科系）
兼任	講師	矢吹　智美 ＜平成32年4月＞	看護治療技術演習
兼任	講師	山崎　みつ江 ＜平成33年4月＞	災害と地域看護活動
兼任	講師	山本　直史 ＜平成32年4月＞	看護治療技術演習
兼任	講師	四ツ屋　真由美 ＜平成32年4月＞	看護治療技術演習
兼任	**講師**	**宇佐美　かおる ＜平成30年4月＞**	**フィットネス実習**
兼任	**講師**	**及川　有紀子 ＜平成30年4月＞**	**礼法**
兼任	**講師**	**大森　美佐 ＜平成30年4月＞**	**家族とジェンダー**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	加藤　はるか ＜平成30年4月＞	歴史学
兼任	講師	川嶋　充 ＜平成30年4月＞	手書き文字の世界
兼任	講師	金　範洙 ＜平成30年4月＞	海外文化研修
兼任	講師	酒井　博美 ＜平成30年4月＞	心理の科学
兼任	講師	ドイチェマン・サラ・ミヨシ ＜平成30年4月＞	英語a-Ⅰ 英語a-Ⅱ 英語b-Ⅰ 英語b-Ⅱ
兼任	講師	奈良　玲子 ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン
兼任	講師	綿引　浩一 ＜平成30年4月＞	漢字・かな文字の変遷

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 （年齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	鹿倉　壮史 ＜平成31年4月＞	漢字・かな文字の変遷
兼任	講師	川嶋　充 ＜平成30年4月＞	手書き文字の世界
兼任	講師	金　範洙 ＜平成30年4月＞	海外文化研修
兼任	講師	クリストファー・トンプソン・リットン ＜平成31年4月＞	英語a-Ⅰ 英語a-Ⅱ 英語b-Ⅰ 英語b-Ⅱ
兼任	講師	酒井　博美 ＜平成30年4月＞	心理の科学
兼任	講師	佐藤　潔 ＜平成31年4月＞	女性と美容
兼任	講師	菅原　令子 ＜平成31年4月＞	哲学への誘い
兼任	講師	ドイチェマン・サラ・ミヨシ ＜平成30年4月＞	英語a-Ⅰ 英語a-Ⅱ 英語b-Ⅰ 英語b-Ⅱ
兼任	講師	中島　幹人 ＜平成31年4月＞	歴史学
兼任	講師	奈良　玲子 ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成３０年度】

・篠原　百合子教授　就任辞退。後任未定であるが、平成３１年４月から専任教員採用予定で公募中。
・立川　茂樹准教授　就任辞退。後任未定であるが、平成３１年４月から専任教員採用予定で公募中。
・小野坂　益成講師　就任辞退。後任未定であるが、平成３１年４月から専任教員採用予定で公募中。
・河内山有佐兼担教授の担当科目調整のため、「英語a-I」「英語a-II」「英語b-I」「英語b-II」をドイチェマン・サラ・ミヨシ兼任講師に変更。
・駒見和夫兼担教授就任辞退により、「キャリアデザイン」を奈良玲子兼任講師に変更、「遺跡に学ぶ」を平成３０年度は休講。
・櫻井洋一兼担教授就任辞退により、鈴木葉子兼担教授に変更。
・佐藤宏子兼担教授の役職者コマ数減のため、大森美佐兼任講師に変更。
・島田由紀子兼担教授就任辞退により、中村光絵兼担教授に変更。
・湊久美子兼担教授の担当科目調整のため、「スポーツ実習」を追加し、「フィットネス実習」を1クラス宇佐美かおる兼任講師に変更
・李明伍兼担教授の役職者コマ数減のため、「社会の仕組み」を平成３０年度は休講。
・池田幸恭兼担准教授の役職者コマ数減のため、酒井博美兼任講師に変更。
・大神優子兼担教授の役職者コマ数減のため、金井智恵子兼担准教授に変更。
・伊瀬玲奈兼担助教の担当科目調整のため、原子はるみ兼担教授に変更。
・木村尚志兼担助教の育児休業取得のため、「海外文化研修」を平成３０年度休講。別途クラス増加につき同科目を金範洙兼任講師が担当。
・石川圭一兼任講師の就任１年延期のため、「手書き文字の世界」を川嶋充兼任講師に変更、「漢字・かな文字の変遷」を平成３０年度休講。
・鹿倉壮史兼任講師の就任１年延期のため、「手書き文字の世界」を川嶋充兼任講師に変更。
・小松稚菜兼任講師就任辞退により、及川有紀子兼任講師に変更。
・早川理穂兼任講師就任辞退により、加藤はるか兼任講師に変更。

【令和元年度】

・篠原百合子教授就任辞退により平成３１年４月金子眞理子教授就任。平成３０年７月教員審査済み。
・小野坂益成講師就任辞退により平成３１年４月筧亮子講師就任。平成３０年７月教員審査済み。
・日野徳子助教就任辞退により平成３１年４月岡島（中西）志野助教就任。平成３１年１月教員審査済み。
・立川茂樹准教授　就任辞退。後任は４月ＡＣ教員審査中。
・嶋野ひさ子講師　就任辞退。後任未定であるが、令和２年４月から専任教員採用予定で公募中。
・河内山有佐兼担教授、担当科目調整のため、及び高久田佳津子兼担教授、Jennifer R Morgan兼担講師退職のため、「海外語学研修」を内田翔大兼担助教、ベンジャミン・オーラ兼担講師、ダラ・フランシス・ラングレイ兼担講師に変更。
・李明伍兼担教授、氏名変更のため里正明伍へ変更。
・佐藤淳一兼担准教授、新規開講科目開設に伴い「ベーシックラーニング」担当。
・大塚千紗子兼担助教、新規開講科目開設に伴い「ベーシックラーニング」担当。
・植田幹男兼任講師、新規開講科目開設に伴い「ベーシックラーニング」担当。
・駒久美子兼担准教授、退職のため、「現代の教育」を甲斐万里子兼担助教に変更。
・佐藤まゆみ兼担准教授、退職のため、「社会福祉の展望」、「社会貢献と実践」を清水冬樹兼担准教授に変更。
・延澤直樹兼担准教授、退職のため「ファッションの文化」織田奈緒子兼担助教が担当。
・綿引浩一兼任講師、辞退に伴い「漢字・かな文字の変遷」を石川圭一兼任講師、鹿倉壮史兼任講師に変更。
・加藤はるか兼任講師、辞退に伴い「歴史学」を中島幹人兼任講師に変更。
・西塚俊太兼任講師、辞退に伴い「哲学への誘い」を菅原令子兼任講師に変更。
・加藤紫識兼担教授、平成30年度休講科目「遺跡に学ぶ」担当。なお、科目名変更のため平成31年度から「文化遺産に学ぶ」として開講。
・鬘谷要兼担教授、クラス増に伴い「パソコンの基礎と応用」担当。
・弓削田綾乃兼担准教授、クラス増に伴い「スポーツ実習」担当。
・佐藤潔兼任講師、金子健彦兼担教授の役職者コマ数減のため「女性と美容」担当。
・クリストファー・トンプソン・リットン兼任講師、クラス増に伴い「英語a-Ⅰ」「英語a-Ⅱ」「英語b-Ⅰ」「英語b-Ⅱ」担当。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）ー①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）ー②　専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教　授	准教授	講　師	助　教	計（Ａ）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（Ｂ）
12 (11)	10 (9)	7 (5)	6 (4)	35 (29)	12	9	6	6	33
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教　授	准教授	講　師	助　教	計（Ｃ）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（Ｄ）
12 [　]	9 [△1]	6 [△1]	6 [　]	33 [△2]	12 [　]	9 [△1]	8 [1]	6 [　]	35 [　]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（Ｂ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｃ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	4 名	5 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{33}{35} = \boxed{94.28}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{4}{33} = \boxed{12.12}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	篠原　百合子	H29.11	必修	基礎ゼミ	①	H29.11ー身上の都合のため就任辞退（30）
				必修	看護学セミナー	①	
				必修	精神看護学概論	①	
				必修	精神看護援助論Ⅰ	①	
				必修	精神看護援助論Ⅱ	①	
				必修	精神看護学実習	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合実践実習	①	
2	准教授	立川　茂樹	H29.9	必修	基礎ゼミ	①	H29.9ー身上の都合のため就任辞退（30）
				必修	看護学セミナー	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				選択	公衆衛生看護展開論Ⅰ（地域）	①	
				選択	公衆衛生看護展開論Ⅱ（学校保健）	①	
				必修	公衆衛生看護展開論Ⅲ（産業保健）	①	
				選択	公衆衛生看護展開論Ⅳ（地域診断）	①	
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ（市町村）	①	
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所）	①	
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業・学校保健）	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護研究Ⅲ	①	
				必修	看護の統合実践実習	①	
3	講師	小野坂　益成	H29.11	必修	基礎ゼミ	①	H29.11ー身上の都合のため就任辞退（30）
				必修	看護学セミナー	①	
				必修	精神看護援助論Ⅰ	①	
				必修	精神看護援助論Ⅱ	①	
				必修	精神看護学実習	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護研究Ⅲ	①	
				必修	看護の統合実践実習	①	
4	講師	嶋野　ひさ子	H31.3	必修	基礎ゼミ	①	H31.3ー身上の都合のため就任辞退（元）
				必修	看護学セミナー	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	成人看護援助論Ⅰ	①	
				必修	成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）	①	
				必修	成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護研究Ⅲ	①	
				必修	看護の統合実践実習	①	
5	助教	日野　徳子	H30.10	必修	基礎ゼミ	①	H30.10ー身上の都合のため就任辞退（元）
				必修	看護学セミナー	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
				必修	成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）	①	
				必修	成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	①	
				必修	老年看護学実習Ⅰ（施設）	①	
				必修	老年看護学実習Ⅱ（病院）	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護研究Ⅲ	①	
				必修	看護の統合実践実習	①	

合計（Ｄ）				後任補充状況の集計（Ｅ）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
5　人	必修	42	科目	必修	42	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	48	科目	計	48	科目	計	0	科目	計	0 科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。

・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー③　上記（３）ー①　・　（３）ー②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
5　人	必修	42	科目	必修	42	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	48	科目	計	48	科目	計	0	科目	計	0	科目

（３）ー④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)ー③合計(D)+(F)}{(2)ー②設置時の計画(A)} = \frac{5}{35} = \boxed{14.28}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由

合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成29年度及び平成30年度に就任辞退のあった専任教員5名について、平成31年4月に教授1名、講師1名、助教1名の補充を行った。残り2名のうち1名はAC教員審査中であり、1名は令和2年4月の採用を目指して引き続き公募中である。2名が担当予定の授業科目については、他の専任教員等で対応するとともに、開講学年に達していない科目もあり支障ない。本学部の領域会議を実質的な単位として、教育上の引継ぎや学生へのフォローを行っている。学生に対しては、教員一覧をホームページ上に掲載するとともに、ガイダンス時に教員紹介を行い、周知している。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （平成30年）	1.保健師課程を希望する学生に対して、履修指導において保健師に係る人材需要や地域の実情等をしっかりと説明すること。	留意事項	履修ガイダンスにおいて、1年生全員に対し、保健師に係る人材需要や千葉県地域の実情をしっかりと説明した。(30)	履行済	
設置計画履行状況調　査　時 （平成30年）	該当なし				
設置計画履行状況調　査　時 （△△年）					
設置計画履行状況調　査　時 （□□年）					
設置計画履行状況調　査　時 （□□年）					

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（<u>学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**<u>当該大学に付された指摘を</u>**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜看護学部　看護学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

平成30年度からは、全体協議会を廃して新設した「大学評議会」にて、FDの計画と実施及び自己点検を、引き続き担当している。　※別添「和洋女子大学大学評議会規程」

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

大学評議会は、学長が議長となり、月2回開催することになっている。構成員は、学長・副学長・学部長等・部門長等・事務局長である。なお、会議で決議された事項を速やかに実施するために、事務局次長(5名)が陪席している。平成30年度は合計21回開催され、全員が出席している。

ｃ　委員会の審議事項等

審議事項は、大学の運営に関わる事項についてである。特に次の事項については、担当制とし、責任をもって行うこととしている。①大学認証評価、②目標と計画(2年計画)、③授業評価アンケート、④学生生活アンケート、⑤FD企画立案、⑥教員実践点検シート、⑦教学マネジメント評価委員会

②　実施状況

全学FDの開催状況

第1回目：平成30年4月2日　内容：新任教員に対する本学の教育理念ほかについて

講師:学長　出席者:46名（出席率100%）

第2回目：平成30年7月3日　内容:「何のためのアクティブ・ラーニング？」

講師:認定NPO法人開発教育協会 事務局長　出席者:133名（出席率93%）

第3回目：平成30年10月30日　内容:「和洋女子大学における教育の質保証について」

講師:学長、全学教育センター長　出席者:130名（出席率86.7%）

看護学部FDの開催状況

第1回目：平成30年12月6日　内容：「看護学研究のこれから-看護理工学にみるケアイノベーション-」

講師：東京大学大学院医学研究科教授1名、パナソニック㈱テクノロジーイノベーション本部要員1名

出席者：34名（97%）

第2回目：平成31年2月25日　内容：「看護学教育モデル・コア・カリキュラムの考え方と運用」

講師：日本赤十字看護大学教授1名　出席者：34名（97%）

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

前期・後期に各1回実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

結果を各授業担当者に公開するとともに、評価結果を分析・各教員の所感等をまとめた報告書を作成し、学内ネットワークを通じて教職員に対して開示している。また、所感を除いた報告書は大学ホームページで公開している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項　　「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

①　体制

ａ　委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

ｂ　委員会の開催状況（回数や開催日など）

ｃ　委員会の審議事項等

ｄ　その他

②　審議状況

ａ　審議した内容

ｂ　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

ｃ　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（４） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

和洋女子大学は、女性の自立を目指し、具体的には、「人を支える『心』と『技術』を持って行動する女性」の育成をスクールモットーとしている。以来、教育、社会福祉、保健医療及び隣接分野に多くの人材を輩出してきた。それらの基盤の上に、超高齢社会における地域医療及び高度先進医療を担う看護師・保健師の養成を目指して、平成30年４月に看護学部を設置した。

看護学部は、ヒューマンケアの理念に基づき、ホスピタリティと確かな専門知識、高いコミュニケーション能力、豊かな人間性と倫理観をもち、多職種と協働し、生涯学び続ける意欲をもった質の高い看護師・保健師を育てることを目的としている（ディプロマポリシー：DP）。

看護学部の設置に当たっては、千葉県・市川市をはじめ周辺の自治体や医療機関の強い要請があった。開設初年度（平成30年度）においては、

１．主に千葉県内、隣接県、東葛地域の応募者の中から、アドミッションポリシー（AP）に沿って入学者を選抜した。

２．教育課程においては、教育目的と学位授与の方針（DP）を達成するために、カリキュラムポリシー（CP）に沿って教育計画を進めた。教科目の配置と進度は教育課程の設計通りに進行し、教育の特色である「看護とホスピタリティ」、英語力の到達度を計る国際医療英語の認定試験を受験した。又、他学部との共同開講である共通総合科目を通して、人文・社会・生活・人間科学の幅広い知に触れることができている。同時に専門教育の基盤分野看護学を開講し、年度末には臨地実習基礎看護学実習Ⅰを終了した。

３．教員組織は開講科目に必要な十分な教員数を配置し、専門教科指導の他、初年次教育（看護学セミナー、基礎ゼミ）を通して、アカデミックスキルの習得と大学生活への適応を支援した。また、学生10～13人に教員一人が担任及びアドバイザーとして学習・生活指導に当たった。

４．教育の特色であるICT教育を進めるための環境整備をおこなった。学生にはi-Padが貸与され履修システム・出席管理の電子化をはじめ、教科書配信をおこなっている。技術科目における「シミュレーション」の活用、「情報処理教育」をおこない、「電子カルテシステム」の導入による授業の展開を準備している。

教育目的を達成するためのカリキュラム・教員組織、学習環境をはじめとする初年度の教育計画は順調に履行されていると考える。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

平成27年4月　公表

ｂ　公表方法

点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上に公開

③　認証評価を受ける計画

平成26年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）による評価の結果、適合と認定された。

認定の期間は2022年3月までであり、2021年度に次回の認証評価を受審する予定である。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「②　自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和元年度）

ａ　ホームページへの公表予定の有無　（　有　・　無　）

ｂ　公表有の場合の公表（予定）時期　（　令和2年　3月　31日　）

ｂ　公表無の場合の特段の理由　（　　）

（注）・　今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

○和洋女子大学大学評議会規程

（設置）

第１条　和洋女子大学学則第８条の規定に基づき、本学に大学評議会（以下「本会」という。）を置く。

（目的）

第２条　本会は、大学の充実と運営の効率化を図るため、大学運営等に関する重要な以下の事項について、審議を行うとともに、必要な連絡調整を行うことを目的とする。

（１）大学の将来構想及び中期計画・目標の企画立案に関する事項

（２）教員人事に関する事項（採用に伴う手続きは別に定める）

（３）自己点検及び評価の企画・実施に関する事項

（４）ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）に関する事項

（５）学長が必要と認めた事項

２　本会は、審議した事項について、必要に応じて教授会に報告しなければならない。教授会は、特に必要がある場合には、本会が審議した事項について、改めて審議し、本会に意見を述べることができる。

（構成員）

第３条　本会は、学長、副学長、学部長、部門長、図書館長、事務局長をもって構成する。

２　本会が必要と認めたときは、前項の規定に関わらず、その他の教職員の出席を求め、意見を聴くことができる。

（会議）

第４条　本会は、原則として定期開催する。ほかに、学長が必要と認めたとき、又は構成員の２分の１以上の要求があったときは、学長がこれを招集する。

２　本会は大学院評議会と合同で開催することができる。

（議長）

第５条　本会の議長は、学長がこれに当たる。

２　学長に支障があるときは、学長があらかじめ指名する者がこれを代行する。

（成立要件）

第６条　本会は、委任状を含めて構成員（国内研修派遣者、海外研修派遣者、休職者、育児休業者及び介護休業者を除く。）の３分の２以上の出席をもって成立する。

（議決）

第７条　本会の議決ならびに教授会の審議結果を参酌し、学長は事項に関する方針を決定する。

（議事の公開）

第８条　本会の議事は、非公開とする。

（庶務）

第９条　本会の庶務については、学事課が担当する。

（規程の改廃）

第 10 条　この規程の改廃は、和洋学園諸規程の管理規程の定めによる。

附　則

この規程は、平成 30 年４月１日から制定施行する。

本規程の制定により、和洋女子大学大学運営会議規程（平成 27 年４月１日制定施行）、全体協議会規程（平成 10 年３月 17 日制定施行）及び全体協議会運営規程（平成 10 年３月 17 日制定）については、平成 30 年３月 31 日をもって廃止する。